

令和5年6月29日

岡山県 第4回Withコロナ体制連絡会議

# 高齢者施設における 新型コロナウイルス感染対策

公益財団法人 操風会

岡山旭東病院 感染管理部門

感染管理認定看護師 菅田 節子



# 本日の内容

---

- 施設内で感染を防ぐために
- 施設内で陽性者発生時の感染対策
- 今後の備え
- 感染対策まとめ

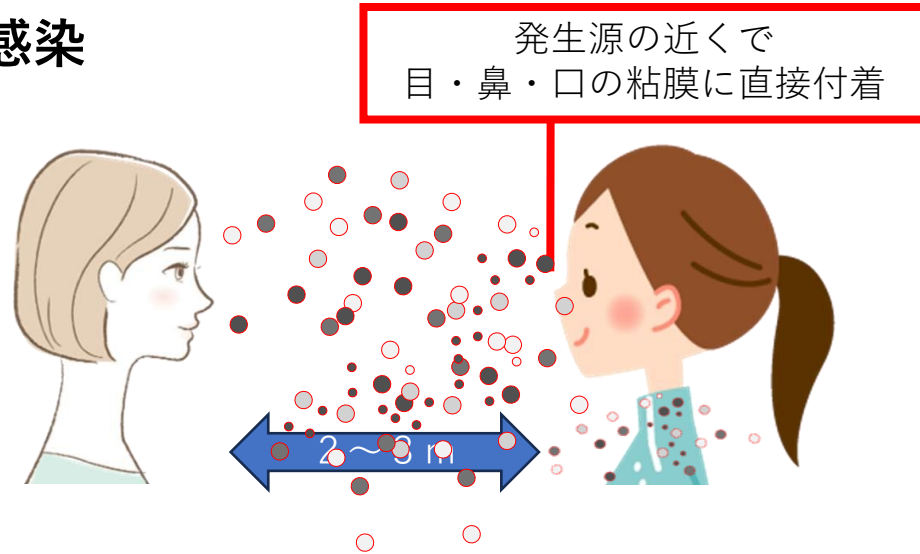


施設内で感染を防ぐために

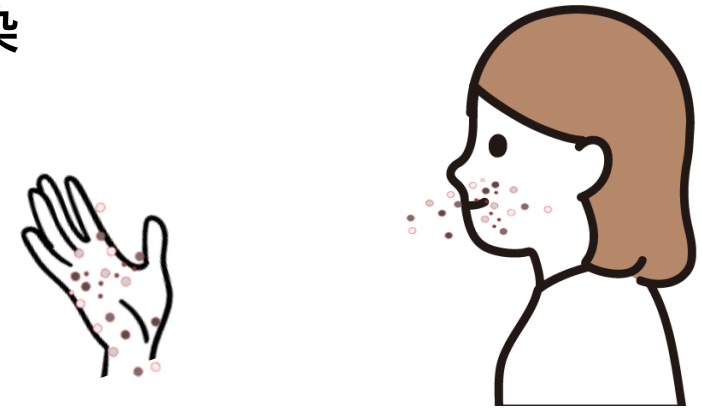


# 新型コロナウイルスの感染経路

## 飛沫感染



## 接触感染

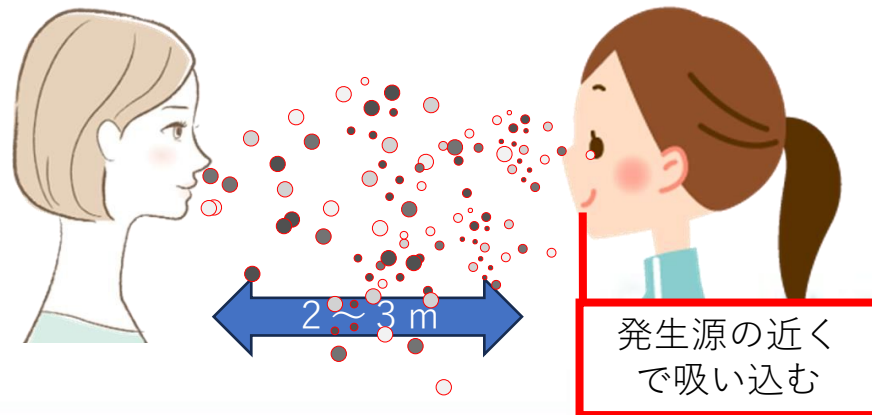


\* 物からの接触感染の頻度は低いと考えられている

参考：Severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 environmental contamination in hospital rooms is uncommon using viral culture techniques Clin Infect Dis. 2022 Aug 24;75(1):e307-e309

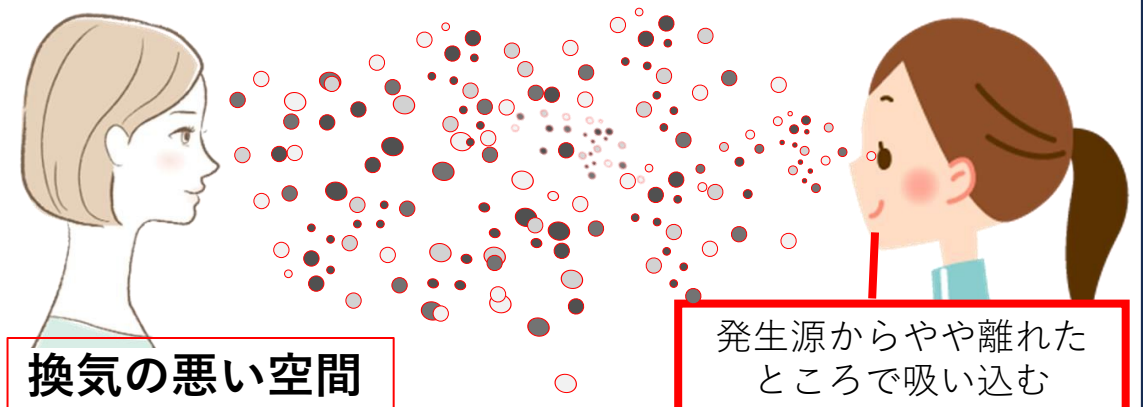
## 近距離で吸入（エアロゾル感染）

鼻・口から出る微細な飛沫やエアロゾル粒子（水分が少なく、小さく、軽い）

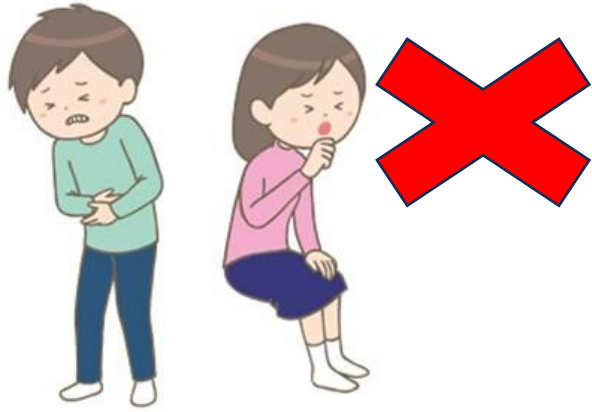


## 遠距離で吸入（エアロゾル感染）

鼻・口から出る微細な飛沫やエアロゾル粒子（水分が少なく、小さく、軽い）



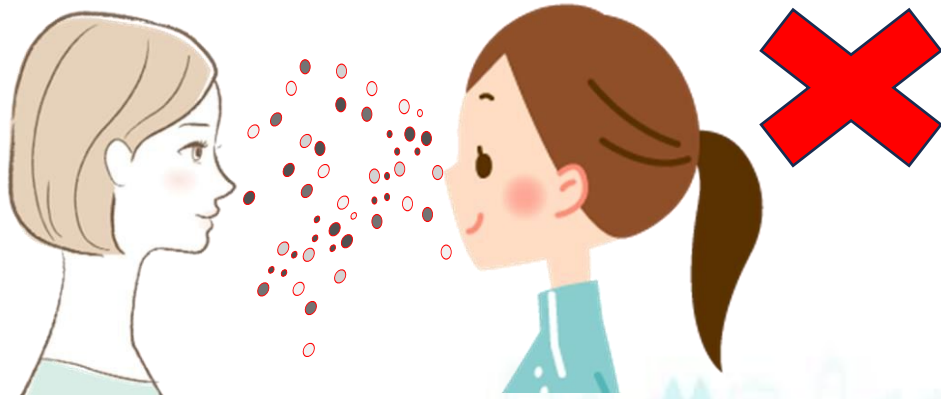
# 感染を抑えるためには



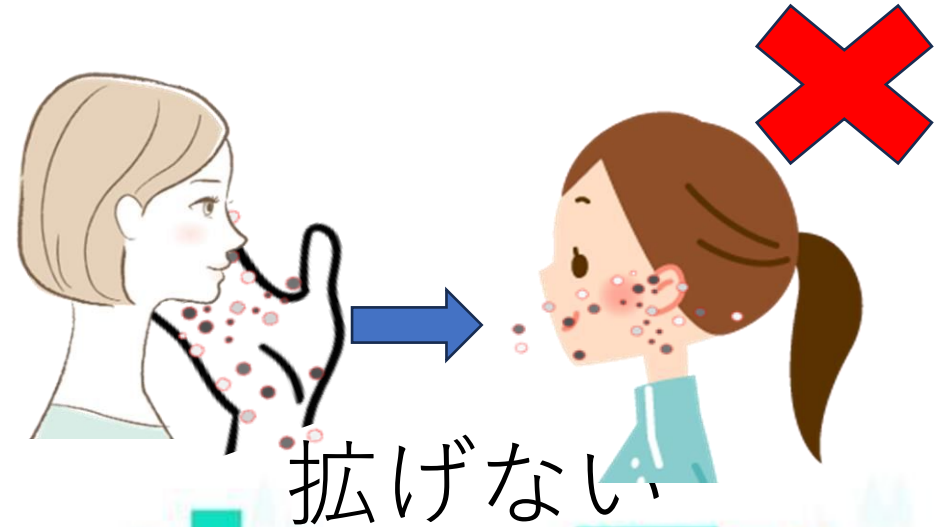
持ち込まない



うつさない



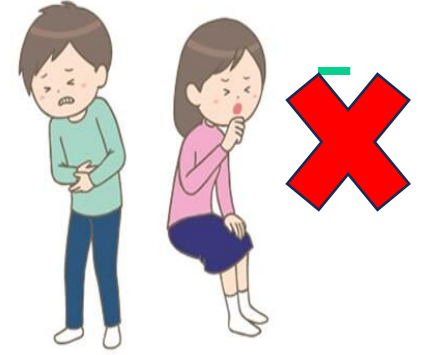
うつらない



広げない



# 持ち込まない



出勤前に体調確認！

\* 熱だけでなく呼吸器症状、かぜ症状、消化器症状も！

体調不良時の対応

- ① 体調不良時は休む
- ② 自分で診断せず、病院を受診する
- ③ 体調が良くなるまでは無理して職場に来ない

\* 通所系では利用者も職員と同じで持ち込みリスクがあるので体調確認が重要

抗原検査陰性だったとしても・・・

微熱・咳あるけどコロナ検査陰性だった。  
よかった～

もう休めないから明日から出勤しよう

抗原検査陰性でもPCR検査で陽性、あるいは時間をおいて陽性となることもある



# 面会について

- 面会により入所者とご家族等が交流をすることはADL維持やQOLの観点からも重要
- 地域の流行状況をみながら配慮

## 面会者へのお願い

- 面会当日は検温をお願いしましょう。
- 面会者が濃厚接触者である場合や、面会者や同居家族に発熱や咳、のどの痛みなどがあり、感染が疑われる場合は面会を断りましょう。
- 面会者が施設へ入る際には、手洗い・手指消毒を行ってもらい、マスク着用をお願いしましょう。
- 施設で感染者が発生した場合に備え、来訪者の氏名、日時、連絡先を記録しておきましょう。



## 面会中に留意すべき点

- 面会時には十分な換気を行きましょう。
- 面会はできるだけ少人数で行います。
- 面会場所では大声での会話は控えてもらいましょう。
- 飲食はできるだけ控えましょう。

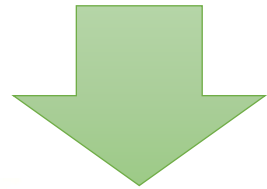
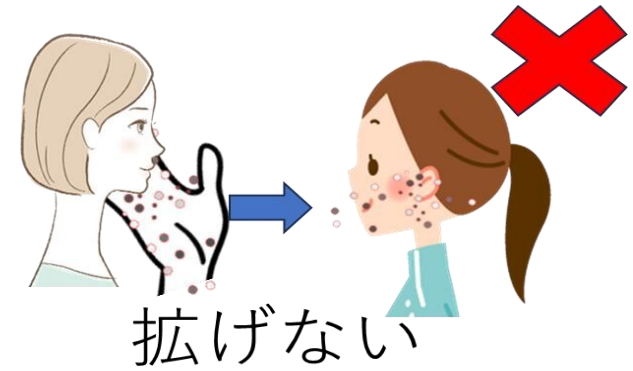


## 面会後の対応

- 面会者が、面会后一定期間以内に発症もしくは感染がわかった場合は、施設への連絡をお願いしましょう。

- 事前に家族と打ち合わせや案内
- 直前の面会者の体調チェック
- 面会場所の工夫  
職員の目の届く場所等
- 面会時は必ず換気をする

# うつさない・うつらない・拡げない



手指衛生



個人防護具



環境整備



ゾーニング  
適切な配置



# 新型コロナ対策だけでない



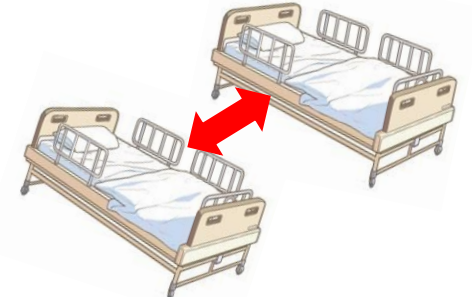
手指衛生



個人防護具



環境整備



ゾーニング  
適切な配置

これらはすべて

標準予防策

普段から  
平時から行うべき感染対策の基本です

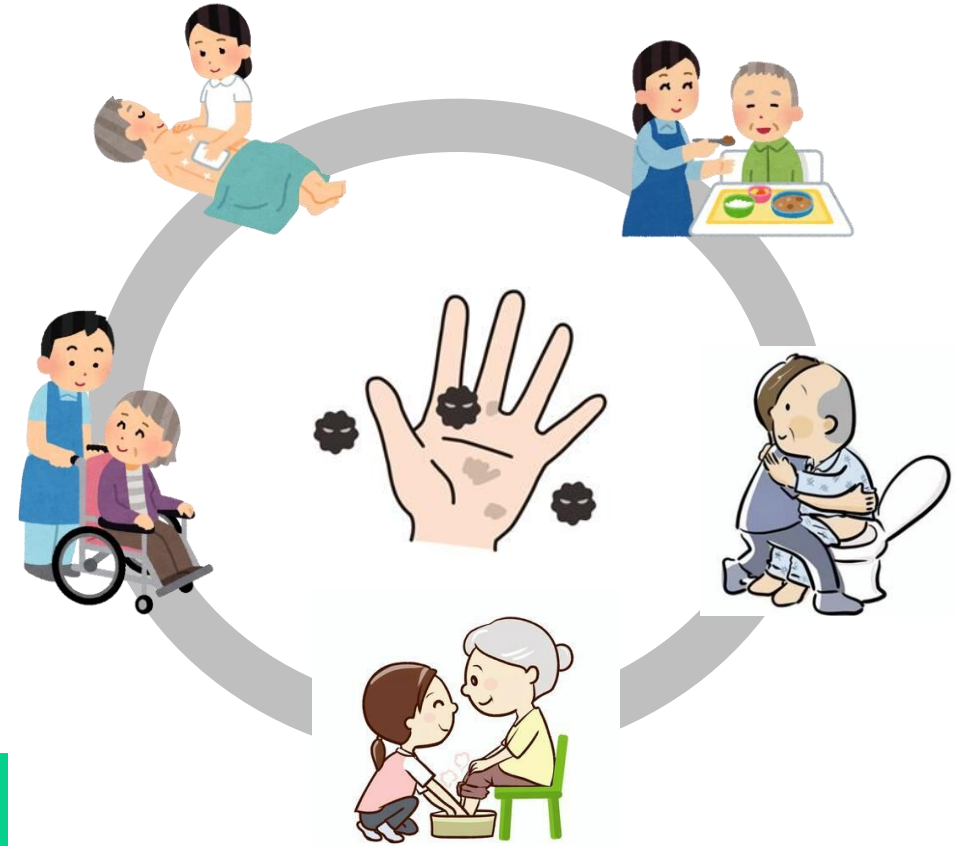
# ①手指衛生の重要性

手はあらゆるケアに使われるため  
ウイルスや細菌は常に手についている



汚染された手が  
媒介となって感染を拡げる

感染予防に最も重要なのは  
適切な手指衛生



注) 現コロナ禍ではマスク着用が必須  
(令和5年6月29日現在)



# 手洗いと手指消毒の使い分け

手が目に見えて汚れている



手袋を外したあと

はい

いいえ

流水と石鹸による  
手洗い

擦式アルコール手指消毒剤による  
手指消毒



排泄後、清掃後、  
調理前後など



- 物理的に洗い流せる
- ×いつでもどこでもできない

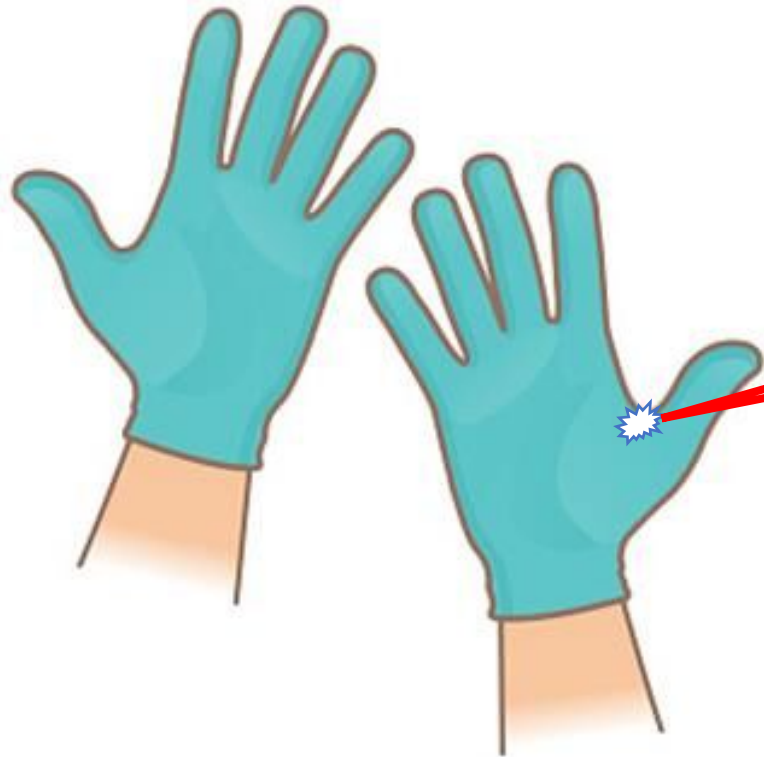


就業前、患者に触れる前、  
与薬前、環境に触れた後など

- いつでも手軽にできる
- ×汚れがあると効果減少  
効果のないものがあるので注意

ケアを実施したら

手袋を外した後は、**必ず手指衛生！**



目に見えない

**穴**が

あいてるかも？

- 手袋の上から消毒をしても完全に微生物を除去できない
- 手袋が破損する可能性がある
- 長時間の使用は破損リスクが高い

**手袋は手指衛生の代用にはならない！**

# 効果的な手指の消毒の方法

## ポイント

- 手指全体を消毒するために、**十分な量を使用**する
- もっとも環境に接触する**指先、爪、親指を最初に消毒**する
- しっかり**乾燥させる**

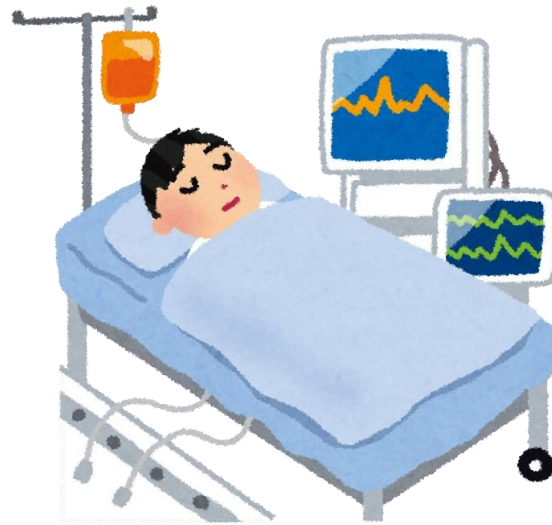


- \* 中身を入れ替える場合は途中で継ぎ足しせず、使い切って容器を乾燥させてから入れる
- \* 使用期限に注意！！



# 環境を スタッフ領域 と患者ゾーンに区分

スタッフ領域

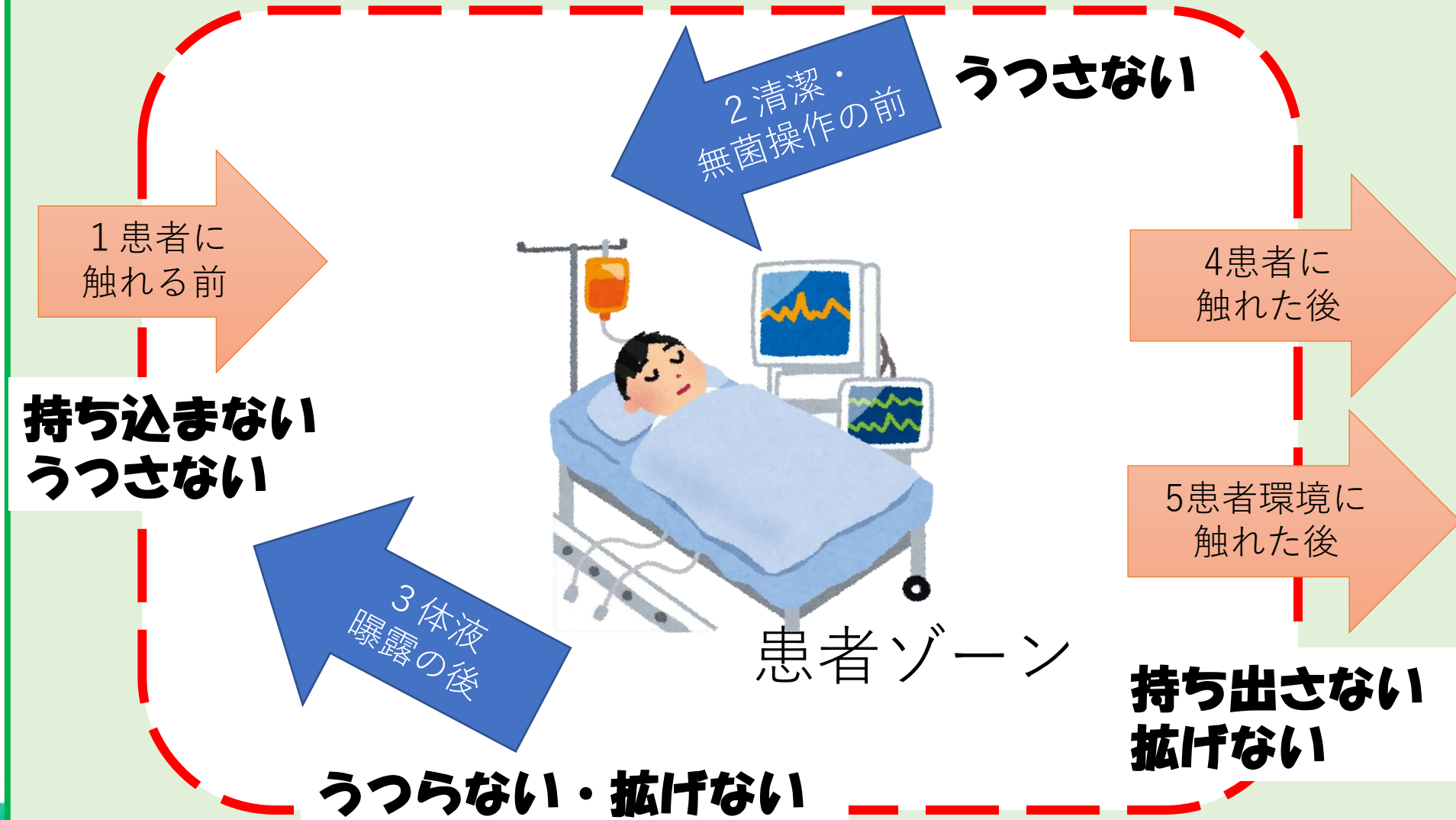


患者ゾーン



# 予防のための対策 手指衛生の5つのタイミング

## スタッフ領域



## ②個人防護具

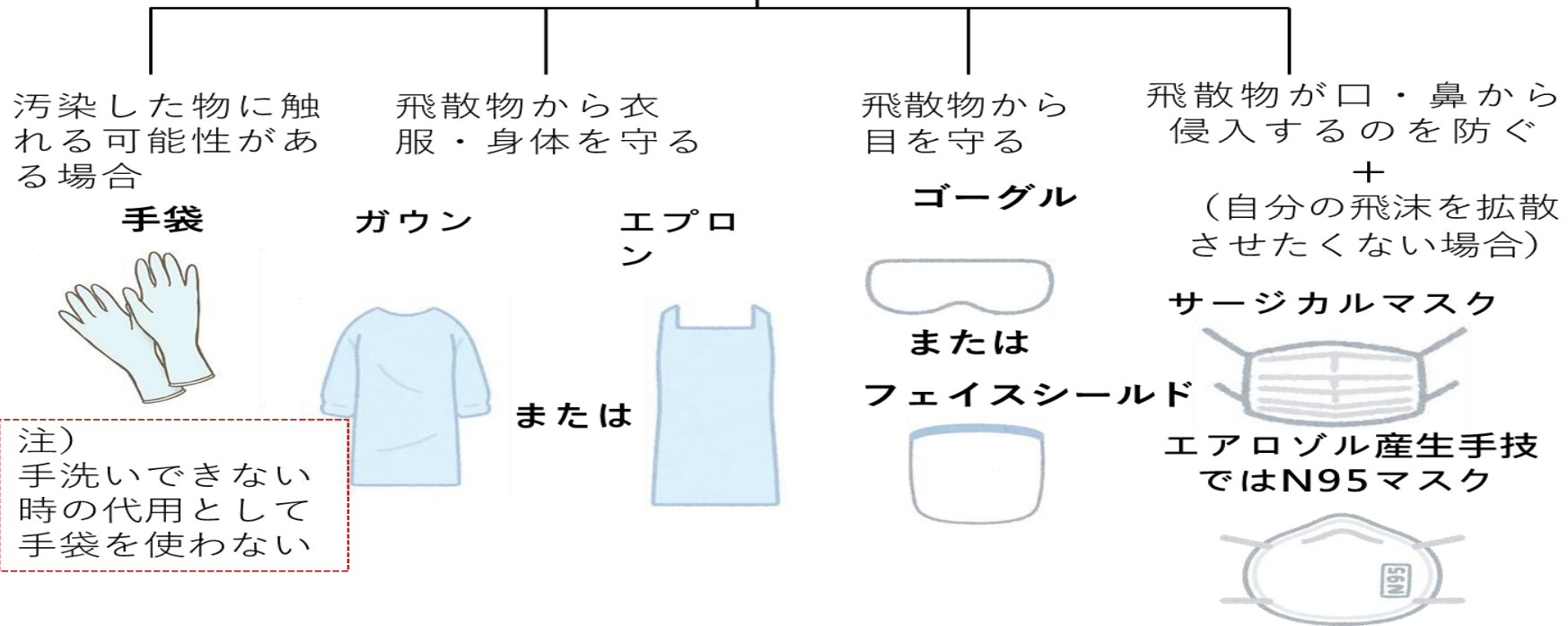
利用者や介護者を感染や汚染から守るために、

**感染症の有無にかかわらず、**

血液・体液・分泌物・排泄物など曝露するリスクがある時には、  
個人用防護具の使用を徹底する

### 個人防護具の選択

血液、体液、分泌物、排泄物、嘔吐物、創のある皮膚、粘膜





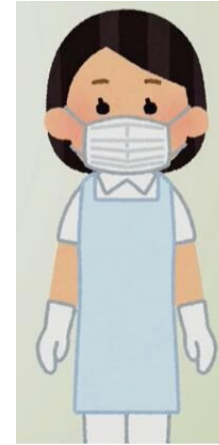
# 平時の過剰になりすぎない防護具



マスクが着用できる利用者  
飛沫の飛散が少ない

身体接触が高いケア  
飛沫曝露が少ない

身体接触が低いケア  
飛沫曝露がほぼ無い



マスクが着用でない利用者  
飛沫の飛散がある

身体接触が高いケア  
飛沫曝露リスクが高い

身体接触が低いケア  
飛沫曝露リスクが低い



# マスクの着用

---

- 居宅系施設のポイント
  - 市中の感染状況をみながら空間、距離、換気に配慮して判断する
  - 咳やくしゃみによる曝露を防ぐため、職員のみでなく利用者なども可能な限りマスクを着用
- 通所系施設のポイント
  - 食事や機能訓練場所は兼用でよいが合計面積が 3 m<sup>2</sup>/人以上必要とされている
  - 実際は想像以上に狭いのではないのでしょうか？
  - 1.5mの間隔を取るの難しいため職員と利用者などもマスクを着用
  - マスク着用が難しい方への身体接触が必要な場面では目の保護が必要



# マスクには感染予防の役割が2つある

- 周囲の人に感染させることを防ぐ（咳エチケット）
- 自身が感染することを防ぐ

## マスクの漏れ対策



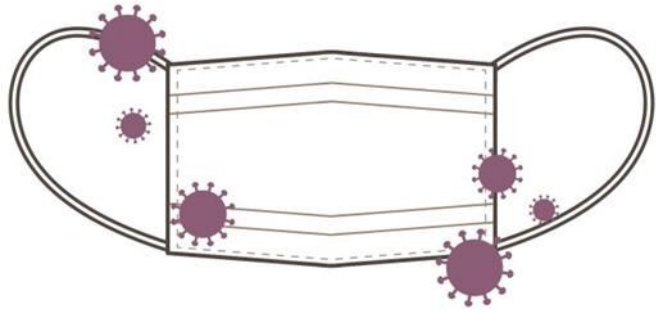
### マスク装着と漏れチェックの方法（略してMMC）

マスクを十分開き、鼻当てがきちんと密着しているか、**鼻やあごの周辺はもれやすい箇所**になるので注意してください。マスクをつける前後は必ず手指消毒をしましょう。

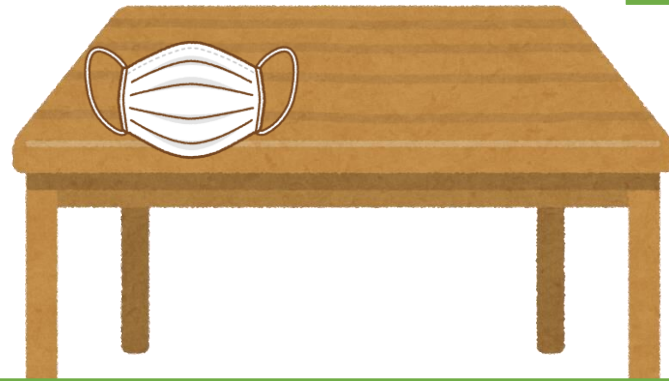
①マスクのフィルターの表面を手で覆ってゆっくり息を吐き、**マスクと顔の間から空気が漏れていない**ことを確認する。

②同様に手で覆ってゆっくり息を吸い込み、**マスクが顔に向かって吸い付く感覚**があるか確認する。着用の度や勤務時間中の相互チェックが大切です。

# マスク着用時の注意



マスクの外側に触れる



× マスクについたウイルス等を  
拡げてしまう

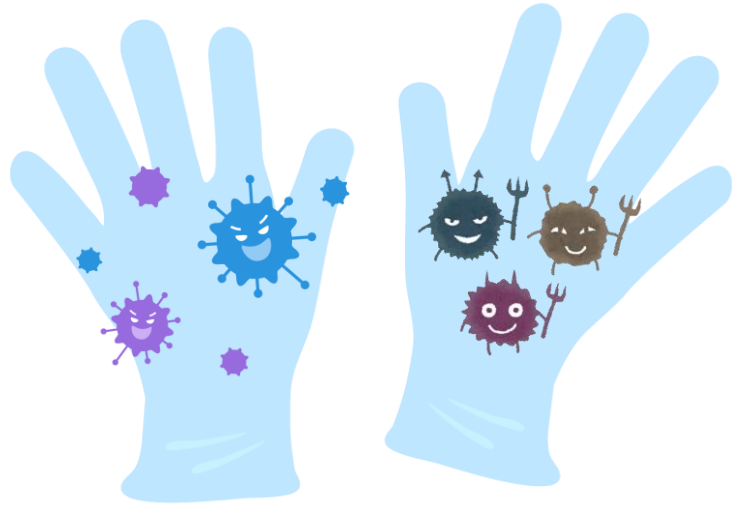
もしも表面に触れてしまったら  
手指衛生!!



交換  
あるいは  
袋などに保管

× ポケットの中

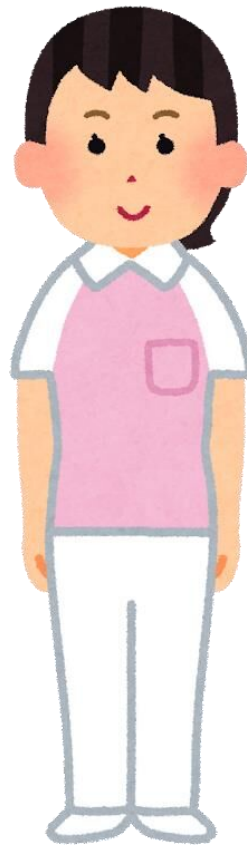
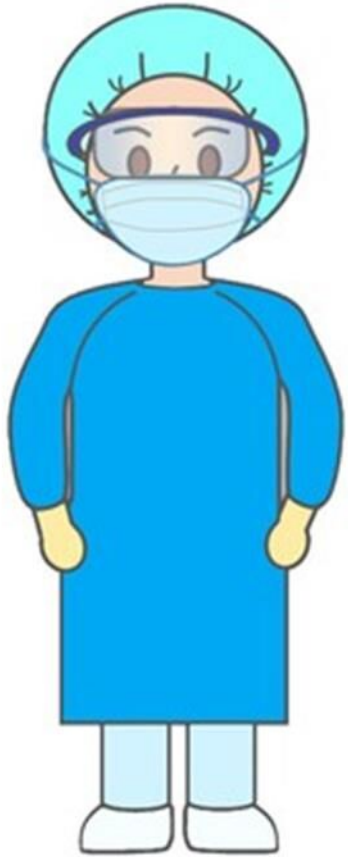
# 使用した防護具は・・・



× 防護具についてウイルス等を拡げてしまう



# ケアが終わった後は



必要がなくなった  
防護具を脱いで  
手指衛生を！！

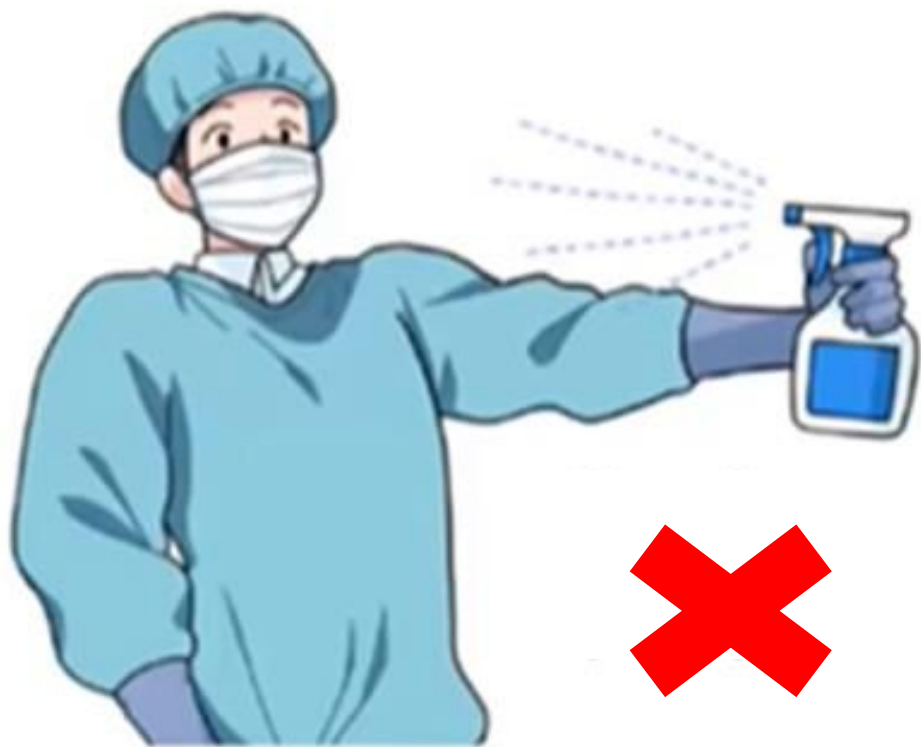


フェイスシールド  
やゴーグルは  
洗浄Or除菌クロス  
等で拭いて保管

表面には病原体が  
付着している



# こんなことしていませんか？



防護具の消毒薬を  
噴霧して使い回す

防護具は消毒液で消毒するのではなく、  
その都度交換する

消毒薬の噴霧は、感染対策上の有効性はない  
消毒薬を吸入することによる健康被害の可能性もある



# 備蓄の目安

物資	確保の目安
N95	職員数 × 4 ～ 5枚程度
ガウン	陽性者数 × 密着介護回数 × 療養期間
フェイスシールド	職員数 × 2枚程度
その他	手指消毒用アルコール、手袋など

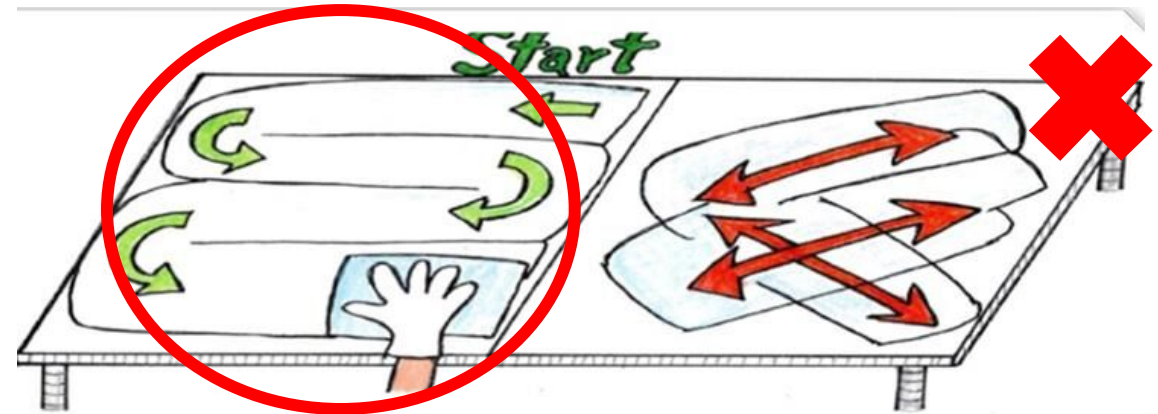
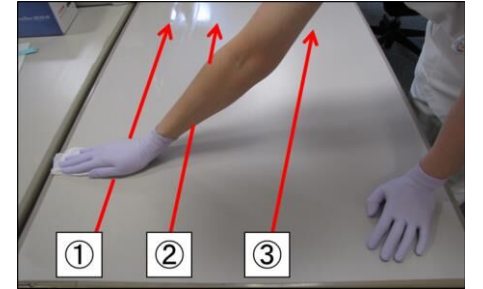
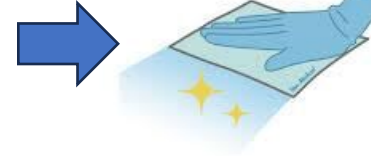
ざっくり1年分といった目安も示されている





### ③環境消毒

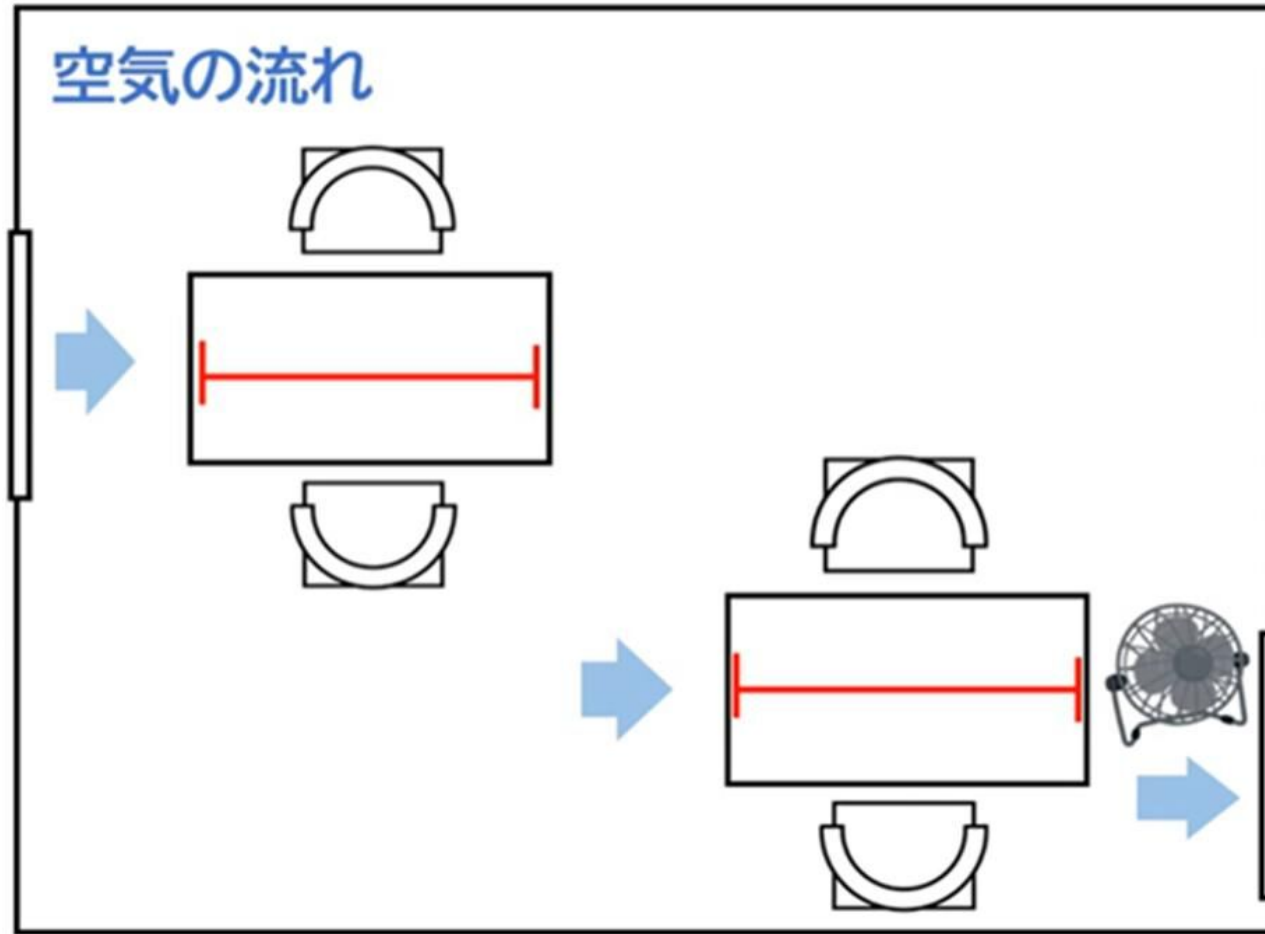
- 頻回に人が触れる場所は1日1回以上消毒！（通常過度に必要なし）
- 共用場所で陽性者が触れた場所は消毒が必要！



70%～95%アルコール  
Or  
0.05%以上の次亜塩素酸ナトリウム

## ④ゾーニング（患者配置）

### 人の配置、パーティション、空気の流れの理想図



空気が滞留しないよう  
**2方向の換気**



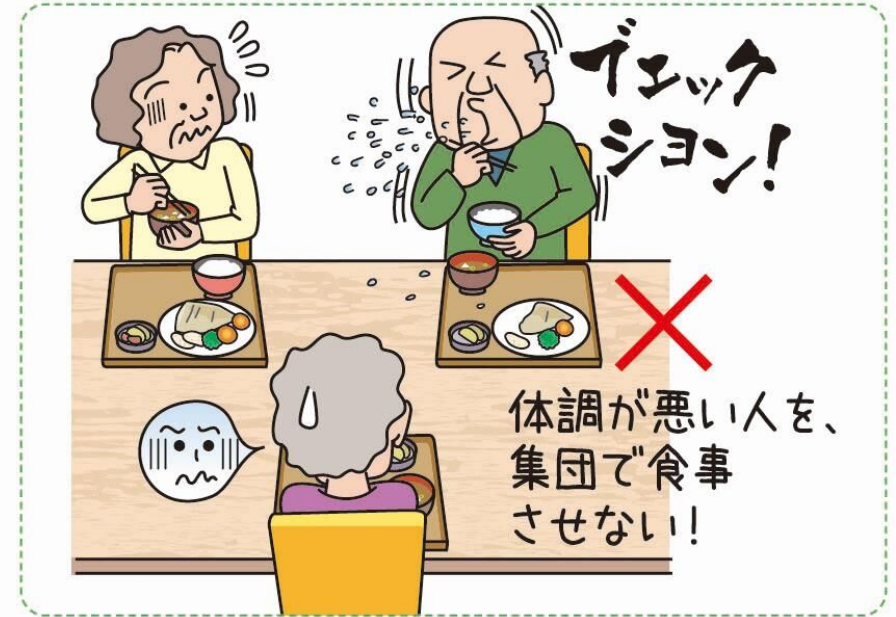
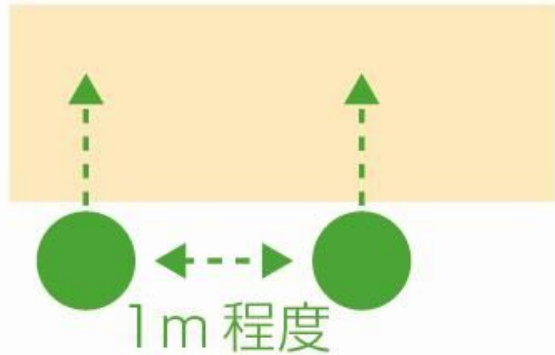
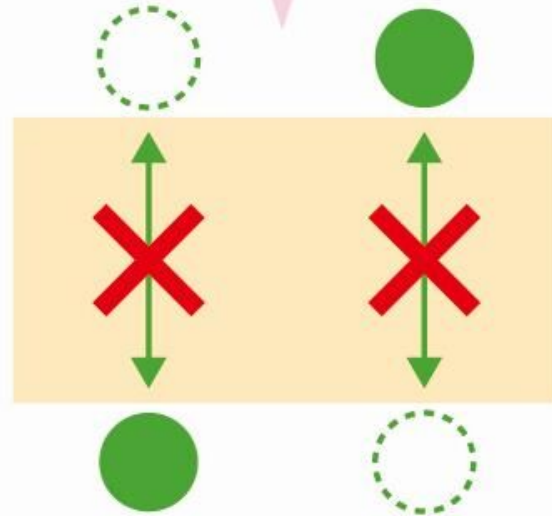
必要な換気量を  
確保するために  
**二酸化炭素濃度  
1,000ppm以下**

# 食堂の座席位置でできる飛沫感染対策

同じ方向を見て座る



同じ方向を向くのが  
むずかしければ、正面  
ではなく、対角線  
上に座る



「感染ってよくわからない」初心者さんに伝える！感染対策“教え方”ブック



# 施設内で陽性者発生時の感染対策



# 感染者確認による対応

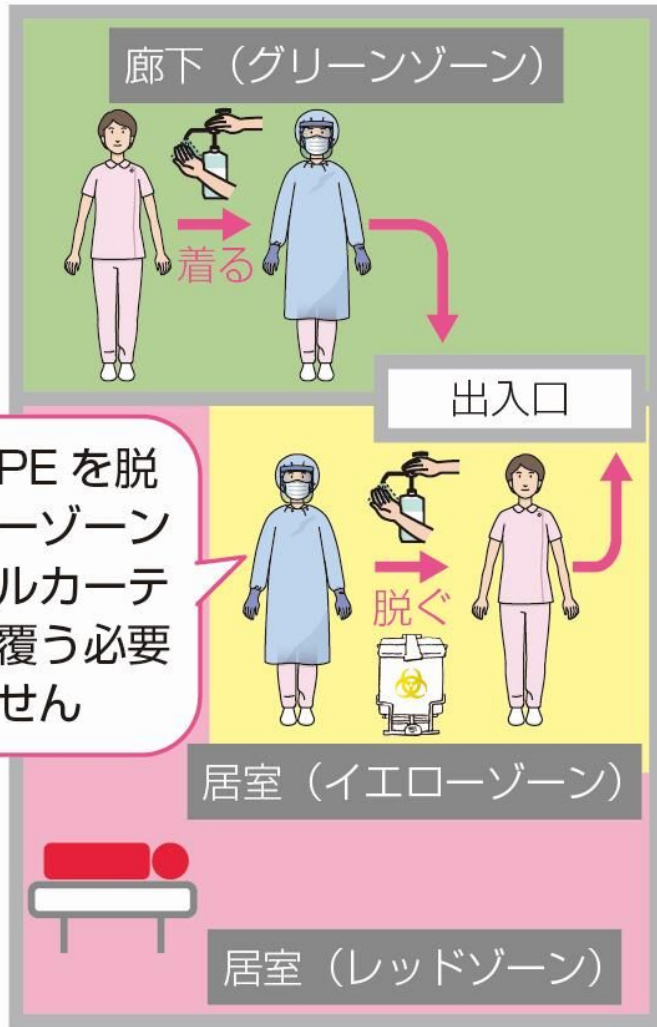
感染者数	対応
1人	陽性者を個室へ（隔離）
2人以上	濃厚接触者を個室へ （陽性者を集団隔離（コホーティング））
ほとんどが陽性	陰性者を個室へ（逆隔離）

発生状況に応じて個室隔離の対象が変わる。  
陽性者は集団隔離してもよい。  
しかし、濃厚接触者同士の集団隔離は推奨されていない。

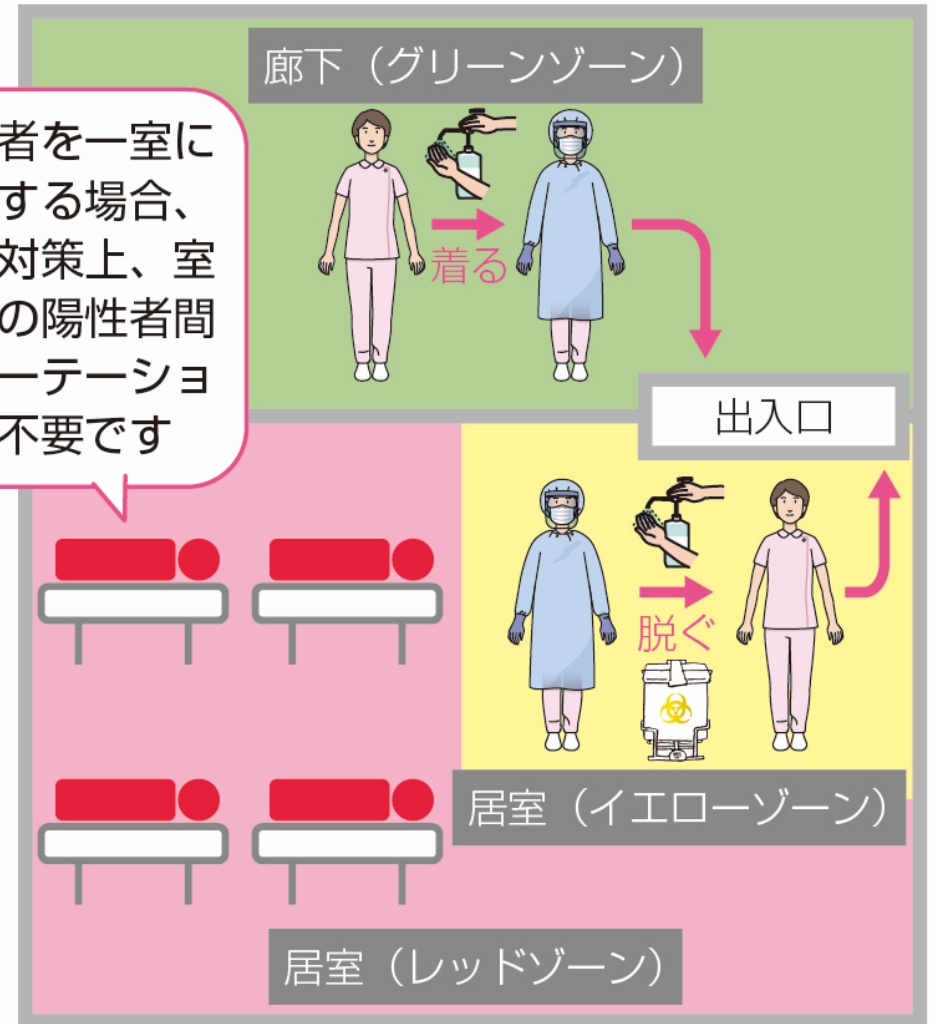
5類感染症になって以降は濃厚接触者の指定はない



# ゾーニングの基本

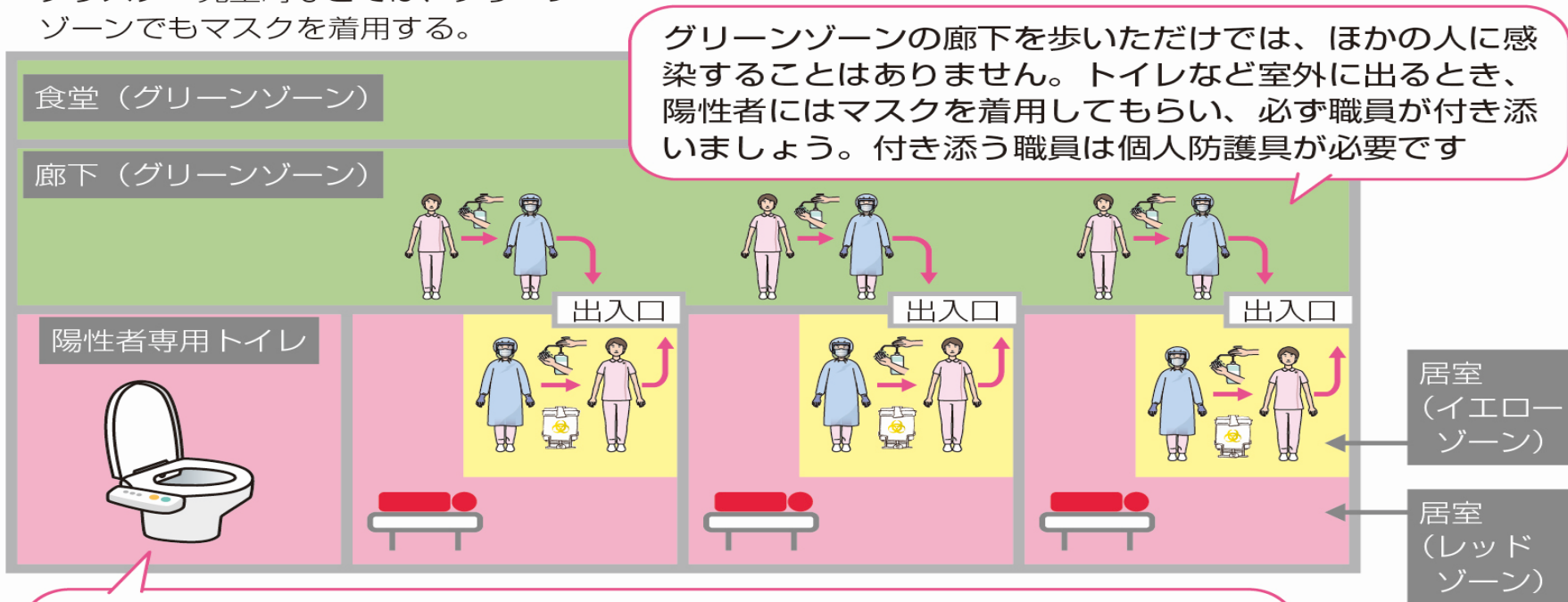


- 一人の陽性者を個室隔離する場合



- 複数名の陽性者が出て、個室がない場合

\* クラスター発生時などでは、グリーンゾーンでもマスクを着用する。



グリーンゾーンの廊下を歩いただけでは、ほかの人に感染することはありません。トイレなど室外に出るとき、陽性者にはマスクを着用してもらい、必ず職員が付き添いましょう。付き添う職員は個人防護具が必要です

居室内にトイレがないときは、ポータブルトイレを設置します。居室内にトイレがなく、ポータブルトイレを設置できない場合は、可能なら陽性者専用トイレを作り、ほかの人が使用しないようにします。陽性者専用トイレにできない場合は、使用ごとに陽性者が触れた部分を消毒します。

「感染ってよくわからない」初心者さんに伝える！感染対策“教え方”ブック

● 複数名の陽性者が出た場合（室内に留まることが可能な場合）

## 拘束しすぎない対応

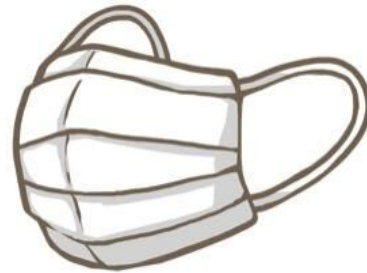
- ・ 感染したことによるADL低下に注意
- ・ 環境の変化による心理的变化、認知症悪化、フレイルの進行を予防
- ・ 積極的にリハビリ・レク等を行い機能を維持できるようにする



# 陽性者に対する濃厚な身体接触の場面

- ・マスクできない陽性者に対して近い距離で処置をする場合
- ・介助者の顔面への飛沫曝露のリスクが高いケア

サージカルマスク



手袋



目の保護具



エプロンまたはガウン





# 陽性者に対するエアロゾル発生手技の場面

- ウイルスの細かい粒子が舞い上がるリスクが高いケア
- 具体的には 喀痰吸引時

N95マスク



N95マスク

手袋



目の保護具



袖付きガウン



# 陽性者（疑い者含む）場合の個人防護具

接触の程度	サージカルマスク	N95	手袋	ガウン又はエプロン	目の保護具	
エアロゾル発生手技		○	○	○ (ガウン)	○	喀痰吸引
濃厚な身体接触 (陽性者がマスク不可) <b>介助者の顔面への飛沫曝露 リスクが高いケア</b>	○		○	○	○	口腔ケア 食事介助 体位変換 車椅子への全介助移乗
濃厚な身体接触 (陽性者がマスク可能) <b>介助者の顔面への飛沫曝露 リスクが低いケア</b>	○		○	○		患者がマスク着用している場合 体位変換 車椅子への全介助移乗
軽度な身体接触 <b>体に密着せず手による介助</b>	○					検温 マスク着用した人のトイレ誘導
身体接触なし	○					会話のみ 配下膳のみ



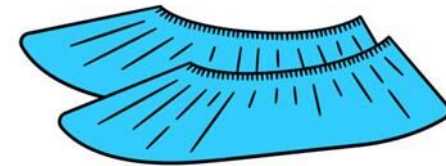
# 以下は必ずしも必要とされていない

---

- ヘアキャップ
  - 髪を触るくせのある職員や長時間汚染区域で処置やケアをする場合を除き不要



- シューズカバー
  - 靴はそもそも汚いもの
  - 清潔に保ちたい手指で汚染した靴を履く・脱ぐのはむしろ危険



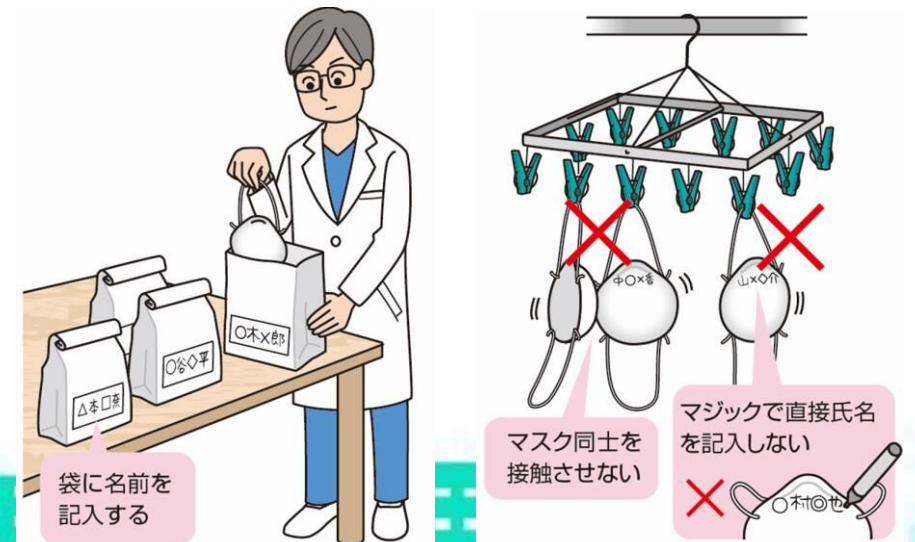
# N95マスクの扱い

喀痰吸引などエアロゾル発生処置以外は必須ではない

N95マスクを使用する場合  
表面の汚染予防にフェイスシールド・  
サージカルマスクを着用することで  
再利用が可能



脱ぐとき汚染を拡げないように表面を  
触らずに脱ぐ  
ただし、ウイルス汚染が残存してい  
る可能性もあるため、清潔区域へ持  
ち出さない



# 個人防護具の着脱順序の習得

着る順番



ガウン  
エプロン



マスク



ゴーグル  
フェイスシールド



手袋

がまごて  
と覚える



一番汚れた  
部分から脱いで  
いくんだね

脱ぐ順番

手袋



ゴーグル  
フェイスシールド



ガウン  
エプロン



マスク



てごがま  
と覚える



※着る前・脱いだ後には手指衛生!!

※脱ぐときには、ひとつ脱ぐたびに手指衛生したほうが安全!!

※ゴーグルよりもガウンを先に脱ぐ方法もある



# 今後の備え

- 持ち込まれることを前提に対策の準備を行う
- 利用者（職員も）をグループ化・ユニット化する
- 職員が利用者から感染することを防ぐ
- 発生時のシミュレーションを繰り返し行う
  - 発生時の初動が重要
- 有事の際に実施するケアについて決めておく
  - 施設内療養に備え
- 職員の健康管理の徹底
  - ワクチン接種（罹患時ウイルス量を減らす・重症化・後遺症・家族内感染を抑制）



# 感染対策まとめ

---

- 出勤前に体調確認、軽症でも異変を感じたら管理者に報告して出勤を控える
- 感染を拡げないためには標準予防策を徹底することが重要
- 最も重要なのは手指衛生で、実施のタイミングを逃さないように適切に行う
- 個人防護具の正しい着脱方法の習得と実践
- 汚染された個人防護具を媒介して感染を拡げない
- 有事に備える



# 参考・引用資料

- メディカ出版
  - 高齢者ケアの感染対策〇と×
  - 「感染ってよくわからない」初心者さんに伝える！感染対策“教え方”ブック
  - 高齢者施設&療養型病院“誰でもわかる”感染対策マニュアル
  - 雑誌 INFECTION CONTROL
- 介護現場における（施設系通所系訪問系サービスなど）感染対策の手引き第2版
- 令和5年5月17日 岡山市保健所感染症対策課主催  
「高齢者等入所系施設における新型コロナウイルス感染症5類移行後の対応に関する研修会」

資料内で使用しているイラストは  
上記使用許可のある雑誌よりダウンロードした物と  
看護 r o o ! イラスト素材よりダウンロードして使用しています。





ご清聴ありがとうございました

